1. 目的

JK-FFを用いたカウンタ回路について実験を行い、その理解を深める。

1. 取り組んだ課題について

本実験で取り組んだ課題を以下に示す。

* 非同期型5進カウンタをシミュレータ上で作成
* 同期型３新カウンタをシミュレータ上で作成
* 非同期型５進カウンタをICを用いて作成

1. 使用機器

* 直流安定化電源
* ファンクション・ジェネレータ
* シンクロスコープ
* ディジタルマルチメータ
* 供試IC

1. 実験方法
2. シミュレータ上での実験
3. 図2.14のタイミングチャートが得られる非同期型5進カウンタを作成し動作を確認せよ。
4. 図2.15のタイミングチャートが得られる同期型3進カウンタを作成し動作を確認せよ。
5. ICを用いた実験

前項のうち、非同期型5進カウンタを実際に作成し動作を確認せよ。なお、クロック入力回路にはファンクション・ジェネレータを用い、周波数は1[kHz]とすること。シンクロスコープにより波形を観測し、グラフ用紙に記録せよ。波形を観測する場合は、クロックと、と、とのペアで観測すること（クロックと、クロックと、クロックとのペアで観測すると、どこが基準なのかわからなくなってしまう）

を使う際には、IC上の端子を用いてよい。

と、未使用の端子は、各々Vccに接続すること。

1. 実験結果
2. 検討事項
3. 参考文献及び出典